

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター どーなつ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 10月 9日		～ 令和 7年 10月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 3日		～ 令和 7年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの個性に合わせた療育(個別対応)を行っている。	こどもの様子や変化、取り組んだ課題の内容とその結果、アセスメントでの情報などを職員間で共有し、同じ対応が出来るようにしている。	課題の充実化。 朝礼にて、その日の予定・計画・役割等の周知徹底をし、終礼にて、その日の出来事の振り返りや変更事項の確認を必ず行っている。
2	こどもの出来ているところを沢山褒め、自己肯定感を高めていけるような療育を行っている。	課題の提供の仕方や内容、課題に取り組む時間など、こども一人一人が達成感を味わえるようにしている。また一人で取り組むことが難しいようであれば1対1での個別対応を行っている。	こどもが持っている力を自ら発揮出来るように課題内容の確認や共通認識を行っている。
3	学校との連携により、こどもの理解を更に深めることが出来ている。	気になる事があれば小さな事でも送迎時や電話にてお互い確認し合っている。 また、必要に応じて支援会議も行っている。	情報の共有。 周知徹底を行う事でこどもの最善を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の柔軟な対応力が弱い。	役割を担当化する事で、担当の物事には責任を持って務める事は出来るが、それが故に周りを見ての柔軟な対応にまで至らない状況になっていると感じる。	職員間での周知報告、協力依頼などの徹底。 常にコミュニケーションを取りながらお互いの様子を 知る事で、こどもへの対応も柔軟に行えるようにして いきたい。
2			
3			

事業所名	こども発達支援センター どーなつ
------	------------------

公表日 令和 8年 3月 20日

利用児童数 令和 7年 10月 31日

回収数 24名

		チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2		3		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			8		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2		4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	1		3		
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	22			2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、 事業所の提供する支援内容と合っていると思 いますか。	21			3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後 等デイサービス計画（個別支援計画）が作成され ていると思いますか。	23			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイ サービスガイドラインの「放課後等デイサービス の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの 支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思います か。	23			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われ ていると思いますか。	19	3		2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう 工夫されていると思いますか。	13	3		8		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、 地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3	13		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、 支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明がありましたか。	21	1		2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、 支援内容の説明がなされましたか。	23			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加で きる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	14	6	1	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、 こどもの健康や発達の状況について共通理解が できていると思いますか。	22	1		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が 行われていますか。	22	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると 思いますか。	21	2		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等 により、保護者同士の交流の機会が設けられる など、家族への支援がされているか。また、きょう だい向けのイベントの開催等により、きょうだい 同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだい への支援がされていますか。	6	5	3	9	解答なし…1	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、 対応の体制が整備されているとともに、こどもや 保護者に対してそのような場があることについて 周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速か つ適切に対応されていますか。	22			2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされていると思いますか。	21	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、 活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に 関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して 発信されていますか。	12	3		9		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思 いますか。	18	2		3	解答なし…1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応 マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニ ュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施され ていますか。	12	1		11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避 難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9		1	14		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画 について周知される等、安全の確保が十分に行わ れた上で支援が行われていると思いますか。	17	2		5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、 事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の 状況等について説明がされていると思いますか。	20			4		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23			1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	4		2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2		1		

事業所名		公表日				
こども発達支援センター どーなつ		令和 8年 3月 20日				
	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	全てがバリアフリーではないので、段差があるような場所では予め予告をするなどして安全確保に務めている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		掃除・消毒等をこまめに行い清潔に保つよう心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	外部による第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日朝礼にて行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日終礼にて行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1		公園等に出かける事はあるが、地域交流の機会の提供が他の基本活動と比較すると弱いと感じる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		常に自己選択できるようなスケジュールや活動を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて連携を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を行っているか。	4		送迎時や電話・FAX等で常に情報を共有している。また、必要に応じて支援会議も行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	必要に応じて提供するが、現在該当者なしである。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時に伝え合うことが出来ている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		年に2回、保護者対象の研修を行っている。	現在、ペアレント・トレーニング等は行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		常に相談を受け対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3	HPやSNSでの定期的な発信は出来ていないが、常に連絡帳や送迎時に活動の情報は発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルの策定・実施の周知・想定した訓練（情報の共有）は実施できている。	マニュアルの保護者への周知はしていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		事前確認もしているが、定期的に変更等がないか、発作の状況はどうか等の確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		現在該当者なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全確保・管理は常に行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		利用契約時に説明し、連絡先をお互いに共有する事で緊急時に連絡・連携が必ず取れるようにしている。	定期的な周知はしていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		職場内研修を必ず行っている。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について定期的に周知徹底しているか。	4			
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在該当者なし。	